

# 令和6年産 コシヒカリ栽培指導基準

JA名：JA魚沼小千谷基幹営農センター

地区名：小千谷地区

○ この栽培基準は、安全・安心で高品質・良食味米を生産するために、地域の実態に即してJAで作成しました。  
○ 使用する肥料・農薬はJAが推奨する品目ですが、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

時期	3			4			5			6			7			8			9			10			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
栽培管理	【種子更新】 種子 温湯消毒			浸種	育苗土準備	播種（乾籾140g/箱）	耕起	代かき	中田植（病虫害箱施用防除）	水田除草剤散布	中干し・溝切り	追肥	農道畦畔の草刈	畦畔草刈り（除草剤散布）											
肥料				①	②			②			③			④			④			E			⑤		
農薬				A			B C						D			E									

※①～⑤、A～Eについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。（なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合、1品目を選択して下さい。）

## ■推奨肥料

記号	肥料名	成分 N-P-K	備考
①	育苗床土		
	稚苗苗代配合	4-6-5-Mg1	
	ハイフミン		
②	ホーネンス培土1号	1.3g-1.3g-1.3g/1箱2.8kg	
	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	
	越後の輝き有機50スーパー元肥	12-6-5	いずれかを使用
③	魚沼ロマングメース	0-6-0-Mg10, Mn0.1	
	けい酸加里プレミア34	0-0-20-Si34, Mg4, Fe2-5	いずれかを使用
	とれ太郎	0-6-0-Si30, Mg12, Fe2-3	
④	越後の輝き有機50種肥	12-2-8	いずれかを使用
	味好2号	7-2-7, 化学N0	
	魚沼ロマンアイアンスター	0-8-0-Si12, Mg5, Fe9.5	
⑤	苦土重焼燐	0-30-0, Mg4.5, Si9, Fe2	
	パワーソイル	0-4-0-Si25, Mg4.5	いずれかを使用
	みつパワー	Mn10, Mg2.7, Si25.1, Fe1.7	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7-Si30, Mg2	
	シリカリュウ	Si17, Mg0.3, Fe1.5	

## ■栽培管理のポイント（長岡地域水稲重点技術対策より）

- 土づくり・施肥
  - ・稲の根の分布を拡げ、健全な発達を促すため、耕深15cmを目標に丁寧な耕うん作業を行いましょう。
  - ・土壌診断に基づいて堆肥や土づくり資材を施用しましょう。特に、有機質入り肥料を用いる場合は、堆肥等の施用を併用して後期栄養の維持を図りましょう。
- 播種・田植え
  - ・高温障害を軽減するため、出穂期が8月8日以降となるよう播種期は4月20日以降、田植期は5月10日以降にしましょう。
- 水管理
  - ・中干し、溝切りは分けつが発生状況や地力窒素の発生状況を踏まえて遅れずに（移植後30日を目安）実施し、出穂1ヶ月前（生殖生長への転換）までに終了しましょう。
  - ・中干し以降は田面が強く乾く事がないよう飽水管理を徹底しましょう。最終かん水日は出穂後25日以降とし、可能な限りかん水を行いましょう。
- 穂肥
  - ・穂肥は幼穂長や葉色等の生育診断を行い、適期に適量を施用しましょう。
- 収穫
  - ・出穂後の積算温度や籾の黄化程度を確認し、適期に収穫しましょう。（適期の目安：出穂後日数 40日、積算温度1,000℃）
  - ・登熟期が高温の年は刈り遅れのないように収穫し、ゆっくり乾燥して胴割粒の発生を防ぎましょう。
- 選別
  - ・1.9mmのふるい目を用い、適正な流量で丁寧に選別を行い品質を高めましょう。

## ■栽培管理日誌記載について

- ・栽培管理における各作業日や、肥料・農薬の使用日・使用量等は栽培管理日誌へ記載しJAへ提出して下さい。（栽培管理日誌はJAにて3年間保管します。）
- ・栽培管理日誌等の提出時期は1回目：8月、2回目：11月です。
- ・栽培管理日誌記載とあわせて、種子の保証書や生産資材の購入伝票を保管しましょう。

## ■推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	農薬使用基準			散布方法	備考
		希釈倍数・散布量	使用時期	使用回数		
A	タフブロック	200倍・24h	催芽前、催芽時	1回	浸漬	
	ファーストオリゼリディア粒剤	50g/箱	播種時（覆土前）			
B	Dr.オリゼプリンススピノ粒剤6	50g/箱	移植3日前/緑化期～移植当日	1回	育苗箱処理	いずれかを使用
	GPオリゼリディア箱粒剤	50g/箱	移植3日前/緑化期～移植当日			
	アッパレZ1キロ粒剤	1kg/10a	移植直後～トコ3葉期 移植後30日まで			
C	アッパレZフロアブル	500ml/10a	移植後3日～トコ3葉期	1回	本田散布	いずれかを使用
	アッパレZジャンボ	400g/10a	移植後30日まで			
	バスタ液剤	薬量500～1,000ml/10a	収穫7日前まで			
D	ラウトアップマックスロード	薬量200～500ml/10a	収穫前日まで	2回以内	畦畔散布	
	スタークル粒剤	3kg/10a				
	スタークル液剤10	1,000倍・150L/10a				
	スタークル粉剤DL	3kg/10a				
E	スタークル豆つぶ	250g/10a	収穫7日前まで	3回以内	本田散布	いずれかを使用

## ■JA米の取り扱いについて

- ・JA米と一般米は区分して収穫・出荷をお願いします。
- ・JA米として出荷された米穀は、JAでの確認後JA米印が押印され、一般米と区分して取り扱われます。
- ・なお、JAの確認により、JA米の要件を満たさないと判断された米穀は、一般米として取り扱われます。